

八八八
开

佐太神社崇敬会

佐太神社社務所
〒690-0331 島根県松江市鹿島町佐陀宮内 73
TEL・FAX (0852) 82-0668
✉ info@sadajinja.jp
<http://sadajinja.jp/>

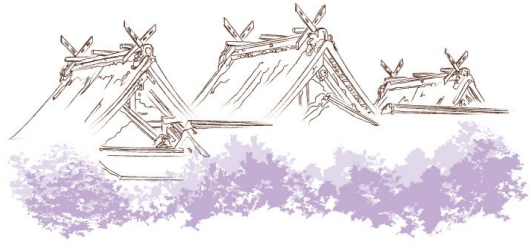


神
在
の
社

佐太神社崇敬会だより

かみありのやしろ

佐太神社崇敬会
平成29年9月発行
Vo.01 正遷座祭記念特集号



御挨拶

佐太神社崇敬会 会長 宇藤 志郎

謹啓

時下ますますご清祥の段 お慶び申し上げます。平素より佐太神社 佐太神社崇敬会の儀につきましても毎々ご崇敬を賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

扱、当会は平時における佐太神社を奉護して、御神徳を宣揚し、年中数度の古伝の催事を振興して、神社の隆昌を願い、御本殿三宇をはじめとした国・県指定の文化財・美術品等の社宝を末永く後世に伝えると共にこれを活用して文化の創造・発展に役立て、広大無辺なる御神徳のもと、広く人々の平安と繁栄を願い平成十六年に設立されました。この趣旨にご賛同いただき多くの方々にご入会、ご支援を賜り、更なる奉賛事業の発展に取り組んでまいりたいと存じます。

また、平成二十五年より氏子を始め全国各地の崇敬者の御浄財を以て平成の大修復工事を進めてまいりました。

重要文化財である御本殿修復事業に関しましては文化庁・県・市の教育委員会の調査・工事の御指導、御援助を頂き、今度見事に竣工致しましたので昨年九月二十三日に正遷座祭、二十四日に奉幣祭、二十五日に奉祝祭・例祭を古式慣例により斎行致しました。

これは一重に奉賛会・崇敬会・氏子の皆様の御奉賛の賜物と厚く御礼申し上げる次第でございます。

引き続き付属諸施設・境内整備工事も鋭意進めてまいりますので御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

神在の社

佐太神社崇敬会
平成29年9月発行
Vo.01 正遷座祭記念特集号



表紙写真
直会祭 崇敬者大祭

佐太神社崇敬会だより「神在の社」目次

2 御挨拶 佐太神社崇敬会 会長 宇藤 志郎

正遷座祭記念特集

4 正遷座祭 九月二十三日 本殿遷座祭

6 正遷座祭 九月二十四日 奉幣祭 九月二十五日 例祭・奉祝祭

7 佐太神社宮司 朝山 芳園「先人の伝えた文化を次代に」

8 正遷座祭 九月二十五日 奉祝行事

宝船餅曳／撒餅／松江城鉄砲隊／佐陀神能「式三番」

10 正遷座祭 九月二十五日 奉祝行事 神座「神々への舞」三神楽の共演

大土地神楽／早池峰神楽／佐陀神能

12 正遷座祭 九月二十日～二十六日 写真集

祭事だより

14 二月十五日 管粥祭

15 五月三日 直会祭 崇敬者大祭／悪切祈禱

16 六月三十日 水無月大祓

17 七月十五日 御田植祭

18 平成の大修復（第二期工事）に伴う御寄付のお願い

19 就任の挨拶 佐太神社禰宜 朝山 哲

20 崇敬会事業報告・計画

23 崇敬会入会のご案内

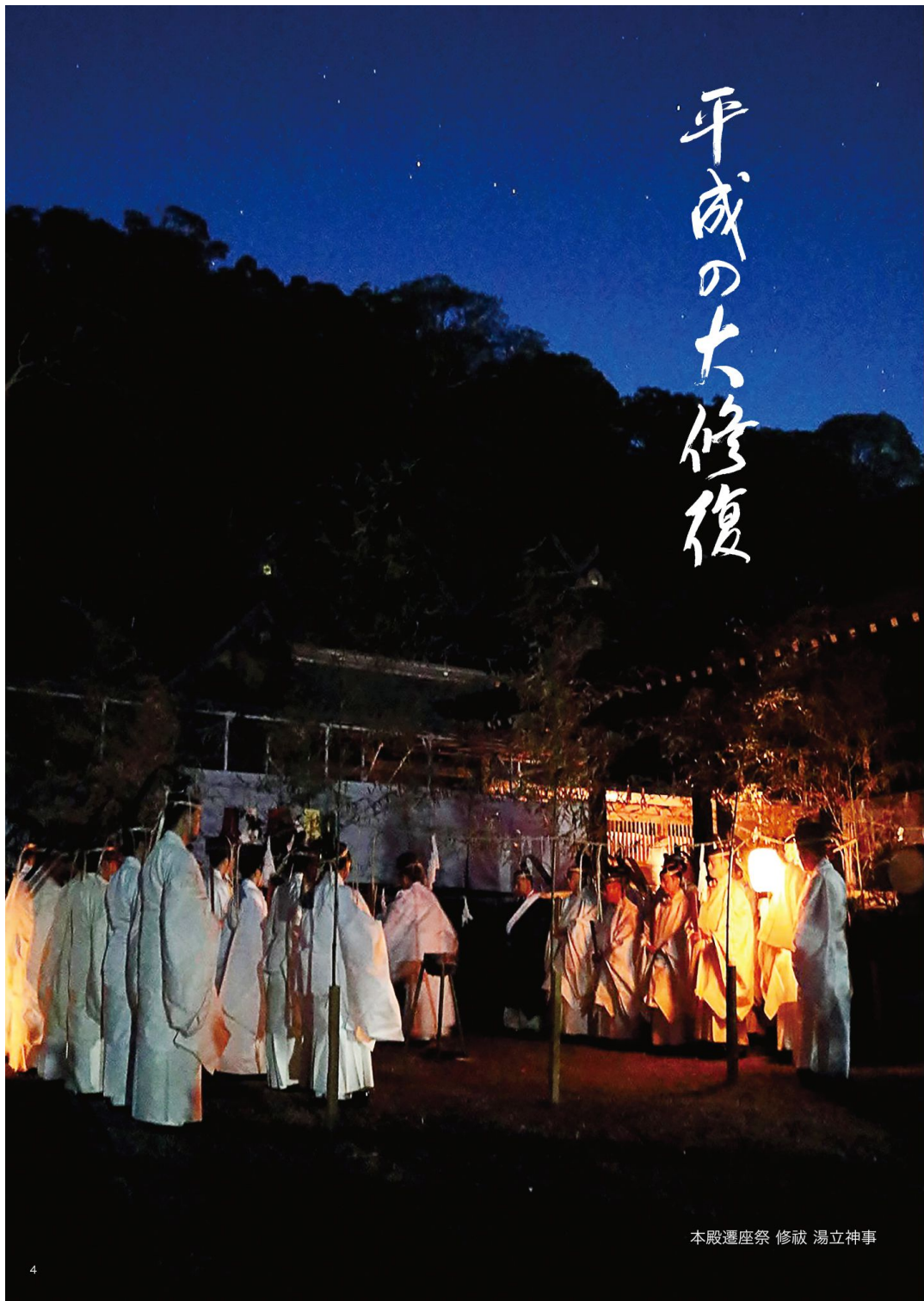
写真撮影 加島 美知



本誌 佐太神社崇敬会だより「神在の社」の写真はすべて加島美知さんにご提供いただきました。佐太神社 正遷座祭をはじめ、年間を通して祭事の記録写真撮影をして頂いています。改めて感謝申し上げます。

佐太神社の祭りの様子や詳しい御由緒は佐太神社公式ホームページ／佐太神社公式 Facebook をご覧ください。
<http://sadajinjya.jp/>

平成の大修復



本殿遷座祭 修祓 湯立神事

平成二十八年九月 正遷座祭

九月二十三日 本殿遷座祭



宮司以下神職参進

平成二十五年から誠意取り組んでまいりました御本殿修復工事も無事完工し、平成二十八年九月二十三日古式に則り正遷座祭を斎行致しました。



白布のひかれるなかを神御が各社殿へ返される

二十三日早朝からの雨も上がった午後六時半、氏子・崇敬者約三百名のご参列のもと宮司以下神職が宵闇迫る境内を手燭の明かりを先頭に参進。祓所での清祓祭が執り行われました。

献饌の後、斎主である朝山権禰宜が祝詞を奏上。四人の神職が湯釜を囲んで「湯行」が行われ、神職が湯に浸した笹で本殿や回廊、宮司以下神職参列者を祓いました。

(湯立神事)

その後宮司以下神職は御仮殿に進み、宮司祝詞奏上。白布の引かれるなかを、南殿、北殿、正中殿の順で神御が御仮殿からそれぞれ修復を終えた各社殿へと還されました。



巫女舞「真ノ神楽」奉納

引き続き三殿に神饌が献じられ、正中殿前で宮司が祝詞を奏上。巫女舞「真ノ神楽」が奉納されました。その後、朝山宮司、本庁使・横山陽之美保神社宮司、櫻井誠己御造営奉賛会会長らが玉串を奉って拝礼されました。



平成二十八年九月 正遷座祭

九月二十四日 奉幣祭

翌二十四日は秋晴れのもと午前十時より奉幣祭が斎行されました。正中殿、南殿、北殿に神饌が奉られたのち、天皇陛下からの幣帛が正中殿の神前に奉られました。この後、朝山宮司が祝詞を奏上。巫女による「八乙女」の舞が奉納、島根県知事 溝口善兵衛をはじめ多くの方に御参拝いただきました。

九月二十五日 例祭・奉祝祭

二十五日には奉祝祭・例祭を執り行いました。奉祝祭には神社本庁幣が奉られ、献幣使・角河和幸神社庁長が祭詞を奏上されました。巫女が「真ノ神楽」を舞い、櫻井誠巳奉賛会会長ほか玉串を奉って拝礼されました。

祭典のほか奉祝行事として宝船餅曳行事、松江城鉄砲隊の演武など執り行われ、約二百人の参拝者で賑わいました。



先人の伝えた文化を次代に

佐太神社宮司 朝山 芳国

昨年九月二十三日、浄闇の中、古式慣例により、本殿遷座祭を斎行申し上げ、翌二十四日には、畏くも天皇陛下よりの幣帛を神前に奉り、奉幣祭を厳粛に御奉仕することができました。忝くも感無量でございます。

前回の御造営から三十年余りが経ち、本殿御三字をはじめ「佐陀神能」を奉納します舞殿など付属の諸施設も損傷してまいっておりました。このため、社殿、神域の荒廃した部分を修復し、以て愈々御神徳の宣揚に奉仕すべく、誠意諸準備を進め、御造営奉賛会を発足し、櫻井誠己会長のもと、氏子をはじめ崇敬者の皆様方の御支援、御高庇を賜り、御本殿等の修復工事を進めてまいりました。

このほど御本殿の修復工事も無事完了し、祭典を斎行できましたのも、ひとえに御神徳と、事業を進めるにあたって御理解、御協力を賜り、経済状況の厳しき中にも御奉賛いただきました皆様方、貴重な文化財でもある建造物等の保存に向け御尽力賜り修復工事に従事していただきました皆様方の深甚なる御信仰の表れと重ねて感謝申し上げます。

当社は神々の国出雲にあっても、とりわけ古い歴史と数々の特筆すべき由緒を持ち、とくに壮大な大社造りの社殿が三殿並立する御本殿周辺の深奥なたたずまいは、古代出雲の有り様を人々に印象付けるものでございます。この度の「平成の大修復事業」第一期工事の完遂により、当社の麗姿を護持し、次代に伝えることができると喜んでおります。

また奉祝祭に合わせ、当社が古くから伝えてまいりました「佐陀神能」の「ユネスコ無形文化遺産リスト」登録五周年を記念し「佐陀神能」とともに「早池峰岳神楽」「大土地神楽」の御奉納も頂きましたこと、関係各位の御努力に心から感謝申し上げます。

このような先人が守り培ってきた有形・無形の神社の文化財を、これからも大切に継承してまいりたく存じますので、引き続き御協力のほどよろしくお願い申し上げます。





宝船餅曳行事 氏子総代を先頭に



宝船餅曳行事



撒餅行事



松江城鉄炮隊による演武の奉納



奉祝祭 佐陀神能「式三番」奉納

平成二十八年九月 正遷座祭

九月二十五日 奉祝行事

奉祝祭当日には様々な奉祝行事が行われました。

午前中には「宝船餅曳行事」が行われ、氏子総代を先頭に、近隣の集会所から餅を載せた宝船が佐陀宮内区内の子供たちに曳かれつつ、神社まで約五百メートルの道程を進み、各隣保から餅を入れた俵を担ぐ氏子が続きました。

午後には二回にわたって撒餅行事があり、特設舞台から幼稚園児や参列者の代表が、境内に詰めかけた人々へ餅を撒いて「平成の大修復」を寿ぎました。

舞殿では佐陀神能保存会による「式三番」の奉納。本殿前では「松江城鉄炮隊」による演舞が奉納されました。



ユネスコ無形文化遺産登録五周年
佐陀神能

佐陀神能 七座神事「散供」

平成二十八年九月
正遷座祭

九月二十五日 奉祝行事 ^{かむくら}神座「神々への舞」三神楽の共演

正遷座祭を祝うとともに佐陀神能のユネスコ無形文化遺産登録五周年を記念して^{かむくら}神座「神々への舞」と銘打った奉納行事が行われました。

出雲市の大土地神楽保存会神楽方（桐山和弘会長）の神楽方により、日本の相撲の始まりを表現した「野見宿禰」が奉納されました。

続いて岩手県花巻市の早池峰岳神楽保存会（小国朋身会長）により、猿田彦命と瓊瓊杵命の使者との出会いを表した「天孫降臨舞」と、神仏が宿った獅子頭を奉じる「権現舞」が披露されました。

最後は佐陀神能による「八幡」「大社」が奉納されました。「八幡」は遷宮の際によく舞われ、前段では白檀の弓に箭矢を採って「寸善尺魔」を鎮める舞の由来を物語り、後段では八幡の神が弓矢を使い悪魔を鎮めます。「大社」は佐太神社の縁起に取材した演目で、後段では出雲地方に伝わる海蛇への信仰が表されています。

※ユネスコ（国際連合教育科学文化機関、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization .N.E.S.C.O.）は、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。



大土地神楽 大土地神楽「野見宿禰」

国指定重要無形民俗文化財「大土地神楽」は、古くから大土地荒神社の神主によって舞われていたが、江戸時代の宝暦年間（1751～1764）頃からは素人神楽も奉納され、三百年以上途絶えることなく受け継がれている。



早池峰神楽 早池峰神楽「天孫降臨」

早池峰神楽は山伏の修業同乗の霊山・早池峰山麓にある早池峰神社に奉納されるもので、昭和51年に国の重要無形民俗文化財第一号に指定、平成21年にユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載される。



佐陀神能「八幡」

佐陀神能

佐陀神能は毎年執行される佐太神社の御座替祭で奉納される神事芸能で、採物舞としての「七座神事」祭り後の神法楽としての「式三番」、日本書紀の神話や神々の功績を題材とした「神能」の三部構成。特に神能は神官が慶長年間（1596～1615）に京で習得した能を取り入れて整理したと伝えられる。昭和51年に国の重要無形民俗文化財に指定、平成23年11月にユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載される。



佐陀神能「大社」



平成二十八年九月二十日～二十六日
正遷座祭





祭事だより
 年間を通して佐太神社では様々な古伝の祭が執り行われます。その一部をご紹介します。

平成二十九年二月十五日

管粥祭

2月15日 古伝祭 管粥祭を斎行致しました。忌火で小豆粥を炊きその中に竹筒をいれ、つまり具合で農作物の吉凶を占うものです。氏子総代、近郷の農事組合法人、篤農家の方々にご参拝いただきました。今年の評定は「早稲八歩五厘 中稲 八歩 晩稲 七歩五厘」でした。



崇敬者大祭

平成二十九年五月三日

直会祭

崇敬者大祭・悪切祈禱

5月3日嘉例により古伝祭 直会祭を斎行いたしました。この祭りに合わせて、午前10時より佐太神社崇敬会主催による崇敬者大祭を正遷座祭以降はじめて御本殿にて行いました。

佐太神社の発展と共に広大無辺なる御神恩を報謝し、国家の弥栄と氏子、崇敬者各位の家運隆昌・無病息災が祈念され、舞殿では出雲地方に古来より伝わる祈禱舞「悪切」を奉納しました。

午後二時からは直会祭が行われ庭上では古い武家の作法を伝えるという杯式や獅子舞、舞殿では国庁神事（地固舞、神子舞、猿田三番舞）が佐太神社古伝神事保存協会の方々のご御奉仕により滞りなく執り行われました。晴天に恵まれ、多くの参拝者の方が古式ゆかしい神事を拝観されました。



直会祭 宮司奉幣



直会祭「杯式」



平成二十九年六月三十日
水無月大祓

6月30日 嘉例により水無月大祓を齋行いたしました。この祭は夏越大祓とも云い、半年の間に知らず知らずのうちに身に付いた罪穢れを祓い、清らかな身に立ち返らんとする神事で、日本古来より受け継がれた伝統行事です。
また、この祭りには茅ノ輪をくぐり、厄災をはらう風習もございます。『備後国風土記』の逸文にある「蘇民将来」神話では茅ノ輪を腰につけて災厄から免れたとされ、茅の旺盛な生命力が神秘的な除災の力を有すると考えられてきました。



平成二十九年七月十五日
御田植祭

7月15日 古伝祭 御田植祭を齋行いたしました。来年の豊作を祈る予祝の祭りです。氏子や保護者が見守る中、佐陀宮内地区小学生3年生以上の児童がご奉仕いたしました。松葉を苗に見立てて所作するのが特徴です。





修復を終えた御本殿三社

平成の大修復 第二期工事に伴う御寄付のお願い

この度の「平成の大修復」第一期工事では、本殿三宇の檜皮葺き屋根の葺き替えをはじめ、千木・鯉木・高欄・縁回りの解体・修理、基壇石の取替修理などを実施しました。

回廊についても、銅板葺屋根の葺き替えや門扉の修復など木工事を施したほか、直会殿祝詞座の板張りを新たにしました。また社務所も畳・衾・障子等を修復し、倉庫を新たに設けました。このほか神橋から本殿へと向かう参道の石畳、手水舎の石張改修・水道工事も行われました。引き続き第二期工事として舞殿修復、車いす歩行路の新設、石垣修復等を計画しております。

誠に恐縮に存じますが、皆さま方のご懇情を賜り、御神徳に報いることが出来ますようよろしくお祈りいたします。

御奉納についてのお問い合わせは佐太神社御造営奉賛会事務局までお願いします。

御寄付について

寄付金は一口 1000 円より承ります。

5,000 円以上御奉納いただいた方にはお名前を芳名版に記し顕彰させていただきます。

10,000 円以上御奉納の方は本殿御垣内にて正式参拝を行います。

200,000 円以上御奉納の方は感謝状を贈呈いたします。

佐太神社社務所へご持参いただくか現金書留等適当な方法でお送りください。

お振込の場合は下記の口座にご入金ください。

ゆうちょ銀行 一三九店 当座 0050667
口座名義：佐太神社御造営奉賛会
(サダジンジャゴゾウエイホウサンカイ)

お知らせ

神職任免

佐太神社 禰宜 岸 悟 願により役職を免ず

平成二十八年十二月十五日

朝山 哲 佐太神社 禰宜に任ずる

平成二十九年一月一日

稲原 慶祐 佐太神社 権禰宜に任ずる

平成二十九年三月一日



奉祝祭「真ノ神楽」

就任の挨拶

この度、岸悟禰宜の後任として1月1日付けを以て神社本庁より禰宜職の大任を拝命しました。素より浅学菲才の身にて責任の重大さを痛感しておりますが、この上は御神威を畏み御加護を仰ぎ御神徳の発揚と御社の隆昌に力を尽くす所存でございます。何卒今後とも格別なる御指導と御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

佐太神社 禰宜 朝山 哲

